

やしお まんさくげい 八潮の万作芸

平成元年5月29日 八潮市指定民俗文化財（無形民俗文化財）

「万作芸」は、古くから親しまれてきた豊年を祝う郷土芸能で、八潮市域に伝わる万作芸には「万作芝居」と「万作踊り」とがあったが、現在では「万作踊り」のみが継承される。万作踊りは、別名、「手踊り」、「豊年踊り」、「バーサマ踊り」、「念仏踊り」ともいわれる。現在、伝承されている万作踊りは、高砂、新河、飴屋、桜、世直し、木更

津、^{しらすこなや}白樹粉屋、^{おいわけ}追分、^{じんく}さのさ、甚句、かっぱれなどである。

万作は、歌い手と踊り手に分けられ、歌い手の多くは男性が務め、踊り手は女性が務める。伝承は、年長者から教わる方法と師匠について指導を受ける方法がある。現在では「万作芸能保存会」が保存に努めている。

